

お取引先各位

2020年12月11日
イワタニ・ケンボロー株式会社
TEL: 03-3668-5360
FAX: 03-3668-5368

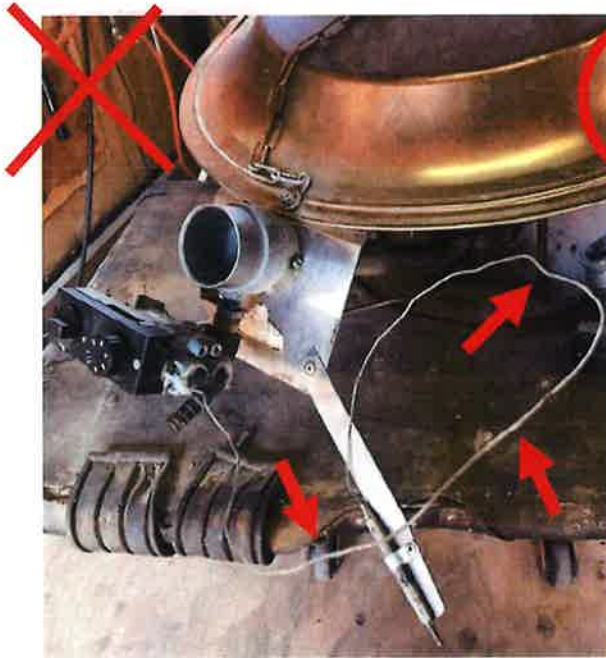
ガソリック製ブルーダーG12Maxiの温度センサー設置に関する禁止事項

拝啓、貴社ますますのご隆盛のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。標記、日頃よりご愛顧頂いておりますガソリック製ブルーダーG12Maxiの温度センサーについて、設置上の禁止事項を下記に明記致しますので、今後は十分ご留意の上、ご使用頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

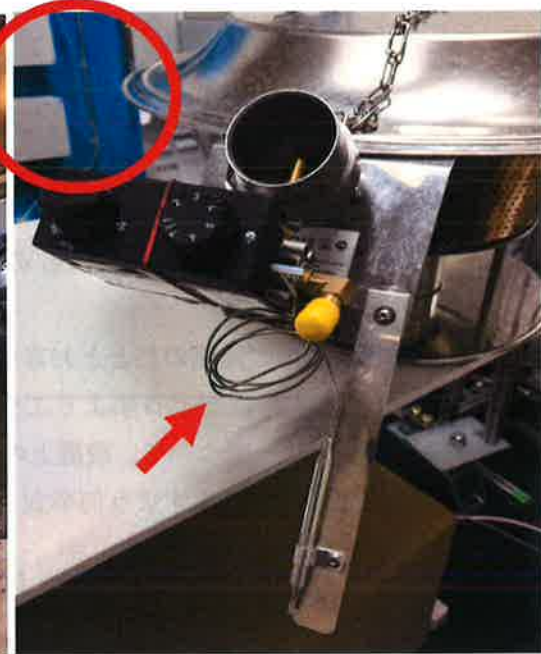
記

1. 対象品： ガソリック製ブルーダーG12Maxiに付属されている温度センサー
※温度センサー…取扱説明書『各部の名称と仕様』記載 No. 96
2. 当該品機能： 畜舎内の温度を感知し、設定温度調整ダイヤルを基に放熱板内部の火加減を調整します。
3. 設置方法： 納品時、温度センサーのワイヤーは輪っか状に束ねてあります。その状態を極力維持したまま、センサーブラケットの先端を持って下に回してください。温度センサーには極力触れないで下さい。
※センサーブラケット…取扱説明書『各部の名称と仕様』記載 No. 95
4. 禁止事項： ①温度センサーのワイヤーを手で伸ばす
②温度センサーをセンサーブラケットに装着せずに下に垂らす
③温度センサーを火で炙る
※温度センサーの先端内部（棒状）にはエタノールが入っています。それが気化した圧力で温度調整を行っており、非常に繊細な構造です。
①・②を行うと物理的な衝撃を受け易くなり、内部のエタノールが漏れて枯渇します。結果、温度調整が効かなくなり故障の原因となります。温度センサーは約40℃で十分に反応しますので、確認時は40℃のお湯にセンサー先端をつけるようにしてください。
③のように火で炙ると、先端が破裂する恐れがあり、非常に危険なので絶対にしないで下さい。

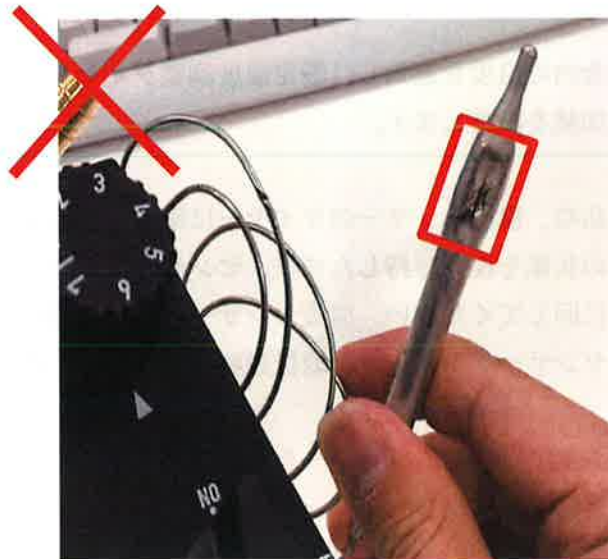
誤った設置例（ワイヤーが伸びた状態）



正しい設置例（ワイヤーが輪っか状）



火で炙ったことで破裂したセンサー



5. 保証について： 現在ご購入日より1年間は保証対応とさせて頂いておりますが、**2021年1月1日以降**に購入された当商品については、当該事象による故障と判断された場合、今後保証対象外とさせて頂きますので、何卒ご了承ください。
(2020年内に購入された当商品はその限りではありません)

以上